

事業結果要約報告書 —科学技術振興関係— 公益財団法人マツダ財団 御中 令和4年4月24日 所属機関名 広島干潟生物研究会 申請代表者 役 職 事務局長 フリガナ クヤ ミツオ 氏 名 く や み つ お マツダ財団から受けた 助成金 200 千円 による事業結果について、 次のとおり報告します。		受付番号 2021 KJ-016
助成事業名		第6回 広島ジュニアサイエンスフェア (事業期間： 令和4年1月10日～令和4年1月10日)
	計 画	実 施 結 果
事業内容	日時 令和4年1月10日 場所 広島市青少年センター（広島市中区） 対象 青少年・一般 定員 300名限定 内容 科学研究発表、ポスターセッション、講演、科学写真展、実験／体験コーナー	日時 令和4年3月20日 場所 己斐公民館（広島市西区） 対象 研究発表者、その家族や担任、次年度発表予定者 参加者(人) 64名 内訳（小中高の先生；3名）（生徒；30名） 内容 科学研究発表、ポスター等の展示、トークショーに限定して開催。（新型コロナウイルスまん延防止等重点措置に従い開催を延期し、別会場で規模を縮小して行った。） 研究発表6件、ポスター展示9点、科学写真展26点、トークショー1件

事業の目的・ねらい

児童・生徒による科学研究の口頭発表、ポスターセッション、科学実験ブース運営、科学写真展、及び専門家による講演、獣医師やさとうみ科学館スタッフによる体験コーナー等を通じて、参加者に楽しみながら科学的素養を培っていただき、科学技術や科学研究の振興に役立てる。

事業の概要

1月10日開催の予定で直前まで準備を進め、参加者の申し込み受付も進めていたが、新型コロナウイルス感染症の拡大が収まらず、いったん1月7日に中止を宣言（1月9日に広島市がまん延防止等重点措置の対象となったことに伴い会場も閉館となった。）。後日、規模を縮小した代替えとして発表会を開催することとした。

【当初計画】

○期日 令和4年1月10日実施予定

○場所 広島市青少年センター 8室

○対象 青少年・一般

○内容

科学研究口頭発表……小学生2、中学生2、高校生2（昨年は小2、中4、高4）

（いずれも、広島市科学賞、広島県科学賞で高く評価された作品であり、旺文社全国上位入選、筑波大学科学の芽賞最優秀賞など、すべて模範的な研究である。）

科学研究ポスターセッション……すべてA1サイズのカラーで展示枚数は20点（昨年は22点）

トークショー……ヘリコプターの現役パイロットによる講演

実験コーナー……12ブース（昨年は12ブース） 高校生の有志によるブースが5件、（株）ナリカによるブースが7件。ナリカの7件については、ジュニアスタッフの中・高校生も運営に参加。

体験コーナー……獣医師7名（昨年は6名）の指導による獣医師体験。前回までは児童・生徒が手術着をまとうて模擬手術などを体験したが、今回はコロナ感染対策として、手術着の着衣は省略予定。

科学写真展……A4サイズ50点（昨年は60点）。昨年好評だったスマホ撮影体験（偏光フィルターによる特殊撮影技術）コーナーを今年度も設置予定。偏光シートによるアート展も同時開催。

実験教材の配布……空を飛ぶ種の模型と実物を中学生以下の全員に配布予定。また自作どんぐり笛も配布予定。

カブトガニ展……大柿自然環境体験学習交流館（さとうみ科学館）の協力により、カブトガニ幼生の実物やパネルの展示予定。

【代替実施】

○期日 令和4年3月20日実施

○場所 己斐公民館（広島市西区）1室（大集会室）及び廊下、ピロティー

○対象 研究発表者とその家族や担任、次年度発表予定者に限定

○内容

科学研究口頭発表……小学生2、中学生2、高校生2

研究ポスター展示……すべてA1サイズのカラーで9枚

科学写真展……A4サイズ26枚に厳選して展示

トークショー……「ヘリコプターのふしぎ」プロパイロット 橋本 隆 氏

成果・効果

当初300名限定で募集を開始したところ、応募開始3日目に定員に達するほどであったが、いったん中止を宣言したため、当初想定していた事業の成果、効果は大幅に削減された。しかし「じゃすふぁガイド」を学校や教育委員会に配布したことと、後日小規模ながら研究発表会を開催したことで以下のような効果があった。

【参加者への効果】

・発表予定者は発表用のスライドを完成させており、また発表の指導を受け練習を積んでいたため、研究内容をわかりやすく伝えるための技法や心構えなどを習得することができた。

・ポスターも完成させずで手元のガイドに掲載されていたため、発表会の聴衆は発表を聞きながら紙面によっても理解を深めることができた。

・ヘリコプターに関するトークショーは、子どもたちだけでなく大人にとっても興味深い内容であり、日ごろ目にすることはあってもその詳細を知る機会がなく、現役パイロットによるスライドや模型を持参しての臨場感のある説明によって、参加者はまさに科学技術の応用について理解を深めることができた。

【地域への効果】

・昨年に引き続き、中止宣言を伝える応募者へのメールに「じゃすふぁガイド」（無料）の送付サービス（送料は個人負担）の案内も合わせて行ったところ、80名弱の方からリクエストがあり、送付した。このガイドを手元に置くことで発表内容の概要を把握でき、また実験ブースの解説ページを参考に、自宅で再現を試みた方もいたようだ。・後援をいただいた広島市、呉市、東広島市、廿日市市、江田島市教育委員会のすべての小・中学校に2冊ずつ「じゃすふぁガイド」を配布することができたため、各校で科学研究の参考書として役立っていると考えられ、理科教育、科学教育の進展に寄与する可能性がある。なお、それぞれの教育委員会にも2冊ずつ配布した。

写真、図

【当初予定（1月10日）のじゃすふぁガイド】



【代替研究発表会（3月20日）プログラム】

**科学研究発表会
プログラム**

2022/03/20

ようこそおいで下さいました。

あいにく、コロナ禍にあって、1月10日に予定していた「じゃすふぁ」は中止となりましたが、その代替として、科学研究発表会をおこなうこととなりました。どうぞごゆっくり子どもたちの発表やトークショーをお聞きいただき、また展示作品もご覧ください。

【研究発表】

13:00～13:10 「空気砲のなぞをときあかせ」 松見朱莉・横尾優奈・川瀬杏葉
13:10～13:20 「干潟の穴のひみつ」 中尾ほのか・小川翔太郎・高橋真湖
13:20～13:30 「干潟のカニの感想への道」 石川直太郎・加納 倫・田上福人
13:30～13:40 「プレファリズムのシスト形成と脱シストについて」 網岡和希・宮本品平・下前清史郎
13:40～13:50 <<< break >>>
13:50～14:00 「カニ巣穴の形と耐性」 林涼玄・西原国祐・川瀬美由紀
14:00～14:10 「水風船の破裂」 栗原青茂・山内泰輝・宮村莉奈

【トークショー】

14:10～15:00 「ヘリコプターの不思議」 橋本 隆

【展示】（廊下とビロティで開催）

ポスター展示	研究内容をポスターで展示しています。
科学写真展示	びっくりするような科学写真を展示しています。
偏光フィルターアート展示	不思議な光のアートを展示しています。

広島干潟生物研究会
 会長 政本恵美子
 事務局 くやみつお



6th JUSFA 代替研究発表会

ポスター展示



写真/アート展



2022年3月20日
己斐公民館

出演者



聴衆



ヘリコプターのふしぎ



トークショー

